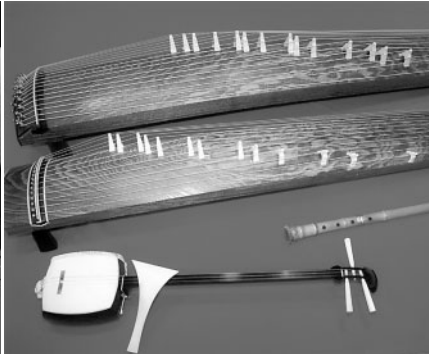


市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

川口市三曲連盟

現在、琴・三味線・尺八の組み合わせで合奏する三曲。平成元年4月に連盟を発足し、川口市文化祭など多くのイベントで演奏している「川口市三曲連盟」のみなさんを岡村市長が訪問。合奏する魅力や活動内容などについて、聞きました。



市長 新年明けましておめでとうございます。平成22年の新春を健やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。このふれあい訪問も今回で150回目を迎えました。今年も頑張ってください。よろしくお願ひいたします。

今日は、「川口市三曲連盟」のみなさんです。はじめに会長の坂本さんにお聞きしますが、三曲とは何を表しているのですか。

坂本 現在では、琴と三味線と尺八のことを、三曲と呼んでいます。

市長 三曲は、いつの時代から伝わっているのですか。

山野 江戸時代中期から合奏していたと言われ、盲人音楽家の松浦検校が作曲し、短琴（家庭用の琴）などを発明した宮城道雄が広めたと言われています。

市長 江戸時代のころは、三曲という胡弓が含まれていたと言われていますが。

青木 現在では、胡弓に代わって尺八が一般的となっています。



市長 川口市の三曲連盟は、いつ発足したのですか。

佐藤 平成元年4月に発足しました。今年で20年になります。

市長 連盟発足のきっかけは何ですか。

西山 22年前、それまで三曲がまとまっていた活動はしていませんでしたが、それぞれの師匠が集まって話し合い、三曲協会を立ち上げました。その後連盟となり、毎年、川口市文化祭やグリーンセンターで開催される梅まつりなどに出演させていただいています。

市長 三曲連盟は全国的な組織なのですか。

遠藤 各地に三曲連盟はありますが、特に全国的な組織はありません。私たちも、単独の川口市三曲連盟として発足し、現在に至っています。

市長 三曲の楽器を組み合わせ

て演奏する魅力は何ですか。

寺中 尺八は長く音が続きま

す。琴は13本の弦で豊かに音を奏で、三味線はバチで弾くのでしっかりとした音が出せます。それぞれ個性的な音色を持っている三曲で合奏できるところが魅力です。

最近では、洋楽の影響もあり、ジャズなどの音楽や現代曲を三曲で合奏することもあります。

山野 私は琴を弾いています。三味線の三弦の音色と尺八の音色が入ると、幅広く音が広がり、素晴らしい曲になります。

市長 市の主催行事のほかに、どのような場所で演奏するのですか。

青木 老人ホームなどの福祉施設でボランティアとして演奏しています。行く場所によっては、演歌や歌謡曲なども合奏することもあります。

佐藤 博物館で演奏したこともありますよ。

市長 楽器を始められて、どれくらいになるのですか。

西山 私は50年になります。琴から始めましたが、子どものころにラジオから流れていた宮城道雄作曲の「春の海」という曲を聴いて以来、邦楽のとりこになりました。

寺中 私は尺八を始めて40年になります。

市長 みなさんは、日本古来の楽器を何十年も演奏し続けてこ

られているのですね。

最後に、新年でもありますが、今年のお祝いなどがあります。たからお聞かせください。

坂本 日本の古典芸能を傳承するには、子どもたちや若い世代の方に入会していただき、育成していきたいと思っています。

市長 若い方にぜひ入会していただき、日本の楽器文化を傳承し続けるため、先ずはみなさんが頑張っていただけだと思います。今日はありがとうございました。

